

2011年 都知事選で 都政転換へ

「革新都政をつくる会」が基本政策案を発表

深刻なくらしの困難が広がるなかで、都民の都政に対する要求は強まるばかりです。

いま、沖縄普天間基地問題、労働者派遣法改定、消費税、「政治とカネ」の問題など、参議院選挙を目前にして鳩山内閣への厳しい批判の世論が広がっています。

同時に、都民の暮らしを守る願いに応えず大型開発優先の施策をすすめる石原都政はあらゆる分野で行きづまり、「都知事選で都政を変えよう」との声が一気に高まっています。

「革新都政をつくる会」は4月23日、「都知事選挙一年前、団体・地域代表者会議」を開催し、2011年春の都知事選で都政転換、東京から国の政治を変える—そのために「幅広い共同」「政策」「候補者擁立」を一体にすすめることを決定しました。

そして、6月1日都議会第2回定例会開会日に基本政策(案)を発表しました。全文は6月15日付ホームページと「都民がつくる革新都政」(骨子)で紹介します。多くの都民の皆様からのご意見をお願いします。

2011年都知事選挙で

東京から国の政治をかえる!

反貧困、憲法九条が輝く、 くらし第一の都政で希望ある東京を —革新都政をつくる会「基本政策」(案)—

新都知事の誕生で、都政を転換し、石原都政の負の遺産を解消し、東京から国の政治を変えます。「革新都政をつくる会」は『3つの転換と4つのゼロ』の実現と基本政策の実行で新しい福祉の都政、希望のもてる東京をめざします。

都民のいのちとくらしを守ることは、都政の第一の仕事です

金融危機と長期不況のなかで、都民のいのちとくらしを守る施策はまったなしです。都政には、雇用、福祉、医療、くらしの破壊と貧困から脱出する緊急の手立てが求められています。同時に憲法9条を守り生かす新知事の誕生で、東京から核兵器廃絶、平和を守る新しい時代を都民とともに切りひらくことが求められています。

都民がつくる革新都政

2010年6月 号外
発行＝革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区大塚2-33-10
東京労働会館5F
電話 (0378) 4031
<http://www.ny.aimet.ne.jp/kakushin/>
(1部25円、送料は別途)